

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

コミュニケーションは、この世界の駆動力の一つである。

「老熟の詩情」
大船渡短歌会6月例会
(伸吟と解放)

田端五百子
正露丸虫歯につめて夜
の床に解けぬクイズに
伸吟したり

菜の花の丘よりどどど
と駅伝の選手ら生れて
被災地躍らす
解けぬクイズに伸吟

返句
難間に伸吟夜明け天高

返句
「奥義」
寺沢 泰子
大会にやっこごぎつけ
し太極拳晴れの舞台上に
新套路を演ずる

返句
たまたまに帰省せし娘
は鎮座せるピアノに寄
りて何を想うや
心身も外の世界も重
心のコントロールに奥
義がある。

返句
太極拳ピアノも鎮座点
集中
新沼志保子
がっしりと大地に根差

返句
「青春の詩情」
大船渡第一中学校文化
祭 2011年秋
(試練への挑戦)

返句
秋からも 常に前進
前へ前へ

返句
人間の 心の中は 栗
のイガ

し繁茂するムコナカセ
とぞ言はれ寂しむ
セシウムが国の基準を
越えてゐる品名並ぶ回
覧届く
大地にしっかりと深
く根を張る植物は真善
美煩惱の深い関係で生
きている人間の世界と
同じく、お互いの思い
やりが大切です。

返句
ムコナカセ大地は汚染
放射能

返句
「青春の詩情」
大船渡第一中学校文化
祭 2011年秋
(試練への挑戦)

返句
秋からも 常に前進
前へ前へ

返句
人間の 心の中は 栗
のイガ

返句
時期早く 緑が残る
紅葉に あせりだすの
は 近づく受験

返句
受験は青春時代の大
きな試練です。試練に
真正面から挑戦する心
構えが詠まれておりま
す。

返句
青春を 燃やして試練

返句
「老熟の詩情」
大船渡短歌会6月例会
(伸吟と解放)

返句
田端五百子
正露丸虫歯につめて夜
の床に解けぬクイズに
伸吟したり

の 挑戦へ
(中3・クラスでの
会話)

緊張と集中への喜びを
感じたいわ!

中3・女子
団結してやり遂げた経
験が力になるね!

中3・男子
受験への挑戦、わくわ
くするわね!

中3・女子
クラスの友人同士の
試練への緊張感と思
やりを共有しておりま
す。

返句
挑戦の 力は互いの
思いやり

返句
老熟の詩情は歴史を
エネルギーとし、青春
の詩情のエネルギーは
現在から未来へ向けら
れております。お互
いの思いやりの情がこ
れをつなぎます。この
旧気仙郡の地に深く根
ざしているエネルギー
を、現在自己の陣地
大にむけて進んでいる
強大国への警告メセ
ジとして世界に発信す
ることを目指しまし
ょう。

返句
青春を 燃やして試練

返句
「老熟の詩情」
大船渡短歌会6月例会
(伸吟と解放)

返句
田端五百子
正露丸虫歯につめて夜
の床に解けぬクイズに
伸吟したり

(東海新報記事か
ら)
7月7日(日)の世
迷言は世界の激しい謀
報活動の現状を伝えて
おり、これに関する日
本の平和ボケの体質に
触れている。

世界列強政治への緊
張感日本とロシアの
海戦でのバルチック艦
隊の殲滅のぎりぎりの
勝利と満州平野でのぎ
りぎりの勝利の厳しさ
を忘れた事がありま
す。司馬遼太郎氏の小
説「坂の上の雲」を
読むと、この事がひし
ひと伝わってきます。
日本は米国、中国、
ロシア、ヨーロッパの
帝国主義的拡張政策を
推し進めている国々
とは異なった世界戦略
を持たねばなりません。
それは自然の中で人類
存続のための思いや
りの思想を広めること
です。

梅下村塾はこの考え
を述べて115回にな
ります。気仙坂には
「両陛下の被災地ご訪
問に思う」が掲載され
ております。昭和天皇
も今上天皇も戦前戦後
の苦難を身を切る覚悟
と行動を続けてきたこ
とに、国民は感動と信
頼をおいていてるもの
と思えます。リーダー
は身を切る覚悟と行動
が要求されます。

梅下村塾はこの考え
を述べて115回にな
ります。気仙坂には
「両陛下の被災地ご訪
問に思う」が掲載され
ております。昭和天皇
も今上天皇も戦前戦後
の苦難を身を切る覚悟
と行動を続けてきたこ
とに、国民は感動と信
頼をおいていてるもの
と思えます。リーダー
は身を切る覚悟と行動
が要求されます。

梅下村塾はこの考え
を述べて115回にな
ります。気仙坂には
「両陛下の被災地ご訪
問に思う」が掲載され
ております。昭和天皇
も今上天皇も戦前戦後
の苦難を身を切る覚悟
と行動を続けてきたこ
とに、国民は感動と信
頼をおいていてるもの
と思えます。リーダー
は身を切る覚悟と行動
が要求されます。

梅下村塾はこの考え
を述べて115回にな
ります。気仙坂には
「両陛下の被災地ご訪
問に思う」が掲載され
ております。昭和天皇
も今上天皇も戦前戦後
の苦難を身を切る覚悟
と行動を続けてきたこ
とに、国民は感動と信
頼をおいていてるもの
と思えます。リーダー
は身を切る覚悟と行動
が要求されます。

梅下村塾はこの考え
を述べて115回にな
ります。気仙坂には
「両陛下の被災地ご訪
問に思う」が掲載され
ております。昭和天皇
も今上天皇も戦前戦後
の苦難を身を切る覚悟
と行動を続けてきたこ
とに、国民は感動と信
頼をおいていてるもの
と思えます。リーダー
は身を切る覚悟と行動
が要求されます。

(試練を越えて)
電子情報が飛び交う
現代、政治、経済、文
化、環境、歴史そして
科学の評価への基盤が
揺れ動いている。それ
は過度な自己主張のた
めの情報操作を各々が
行っていることと関係
がある。大国の情報収
集と情報操作は目に余
るものがある。
最近の猛暑、豪雨、
日照り、砂漠化、大気
汚染の問題をどうとら
え、どう対処していく
のか、大きな問題を抱
えている。「梅下村塾」
は、これら人類の存続
にかかわる大問題に、
日常の生活から何が可
能で何をすべきかを追
求してきた。即ち、地
道な日々の心がけと行
動へのメッセージを述
べてきた。この根底に
は人類は自然との共存
の関係の中で、自然と
生命と人類との「心の
交流の場」を創造し、
その交流を通してこ
そ、生きている喜び即
ち「安心立命」を感得

することができるとい
う考えである。
それには、思いを、
俳句、川柳、短歌、キ
ャッチコピーなどに詠
むことから始まるので
ある。1万年以上に及
ぶ縄文文化を経て、2
000年にも及ぶ漢字
文化の影響の中で、発
展してきた日本語文化
は、五七五に詠むと世
界で一番短い詩にな
る。即ち、五七五で詠
むことは、無意識の奥
にあるものを呼び起こ
し、命を呼び戻すこと
になるのである。
詠むことは祈りと同
じものになるのであ
る。それを英語で詠む
と「五七五とShort
Verse」として、世界に
発信できる。この活動
は、現在西多摩地方で
地方新聞、医療機関、
学習塾を介して展開を
している。北里大学で
は、ボランティア社会
学コースに取り入れら
れている。
大船渡短歌会と大船
渡一中の詠作と評価の

「老熟の詩情」
大船渡短歌会6月例会
(伸吟と解放)
田端五百子
正露丸虫歯につめて夜
の床に解けぬクイズに
伸吟したり
菜の花の丘よりどどど
と駅伝の選手ら生れて
被災地躍らす
解けぬクイズに伸吟
して眠れぬ夜、朝目さ
まれば地元出身の駅伝
の選手の報道で心が沸
き立った。
返句
難間に伸吟夜明け天高
し
(奥義)
寺沢 泰子
大会にやっこごぎつけ
し太極拳晴れの舞台上に
新套路を演ずる
たまたまに帰省せし娘
は鎮座せるピアノに寄
りて何を想うや
心身も外の世界も重
心のコントロールに奥
義がある。
返句
太極拳ピアノも鎮座点
集中
新沼志保子
がっしりと大地に根差

「青春の詩情」
大船渡第一中学校文化
祭 2011年秋
(試練への挑戦)
秋からも 常に前進
前へ前へ
人間の 心の中は 栗
のイガ
時期早く 緑が残る
紅葉に あせりだすの
は 近づく受験
中3・女子
受験は青春時代の
大きな試練です。試
練に真正面から挑戦
する心構えが詠まれ
ております。
返句
青春を 燃やして試練

「老熟の詩情」
大船渡短歌会6月例会
(伸吟と解放)
田端五百子
正露丸虫歯につめて夜
の床に解けぬクイズに
伸吟したり
菜の花の丘よりどどど
と駅伝の選手ら生れて
被災地躍らす
解けぬクイズに伸吟
して眠れぬ夜、朝目さ
まれば地元出身の駅伝
の選手の報道で心が沸
き立った。
返句
難間に伸吟夜明け天高
し
(奥義)
寺沢 泰子
大会にやっこごぎつけ
し太極拳晴れの舞台上に
新套路を演ずる
たまたまに帰省せし娘
は鎮座せるピアノに寄
りて何を想うや
心身も外の世界も重
心のコントロールに奥
義がある。
返句
太極拳ピアノも鎮座点
集中
新沼志保子
がっしりと大地に根差

「青春の詩情」
大船渡第一中学校文化
祭 2011年秋
(試練への挑戦)
秋からも 常に前進
前へ前へ
人間の 心の中は 栗
のイガ
時期早く 緑が残る
紅葉に あせりだすの
は 近づく受験
中3・女子
受験は青春時代の
大きな試練です。試
練に真正面から挑戦
する心構えが詠まれ
ております。
返句
青春を 燃やして試練